**否定マーカー**

色々な文字　文の構造

否定マーカー

言語の文字と文の構造から多様性と類似性を学べる教材である。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ねらい | ： | ・世界の文字の様々な形や読む方向にふれ、多様性に親しむ。  ・否定マーカーの位置から、知らない言語の文構造を推測する。 |
| 対象 | ： | 小学高学年以上 |
| 所要時間 | ： | ３０分～６０分 |
| 準備物 | ： | 肯定文と否定文がセットになったそれぞれの言語カードをバラバラに切ったものを  グループの数の分用意しておく。 |
| 進め方 | ： | １．グループごとに言語カードを見比べ、言語同士の共通点 を見つける。  ２．それぞれの言語の否定マーカーに印をつけ、共通の規則によって仲間をつくる  ３．仲間にした言語群の規則を説明し、話し合う。 |
| 留意点 | ： | * 否定マーカーが最初にくるもの、真ん中にくるもの、最後にくるものの３種類に分かれるが、読む方向によって、たとえばアラビア語は右から読むので最初ではなく最後にくる言語であることに気づかせる。モンゴル語の方向（縦）にも注意。 * 日本語はひらがな・カタカナ・漢字というハイブリッドな文字で構成されているこに気づかせる。 |
| 発展 | ：た | 右から読む文字としてアラビア語やペルシャ語から、日本語も昔は右から読んでいた時代があったことを紹介し、いつから左から読むようになったか、なぜか、などについて調べ学習につなげる。 |